

目標達成計画

作成日: 令和 7年4月27日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先 順位	項目 番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に 要する期間
1	35	定期的に避難訓練等を行っているものの、その他の災害時(風水害、地震など)の対策に関し、計画立案はあるものの、具体的な取り組み、および職員間の連携等未熟な部分がある。また、日常生活の介護における緊急時(心肺停止等)の対応の認識に不十分さがうかがえる。	研修、訓練の実施を行い、非常時には少しでも安心して、入居者、職員、家族が過ごせられるようになる。	①災害時(風水害、地震)の研修、訓練 ②AED機器の理解、使用方法の習得	6ヶ月
2	4	地域との関わりやホームの運営状況の向上に関し、ホーム内だけで完結している面がうかがえる。広く活動を知って頂くまた、地域との連携を密にする事により、ホーム運営の向上を図る必要がある。	運営推進会議を活用し、多くの参加者を募る事で、ホームの活動を広く理解して頂くとともに、併せてご意見を頂戴することにより、ホーム運営の向上が図れる。	①運営推進会議参加者の・民生委員・入居者・家族の積極的な参加を促す ②会議結果においては、その場限りせず、参加者にしっかりとフィードバックをし、職員間でもしっかり論議しホーム運営の向上に努める	12ヶ月
3	6	身体拘束を行っていることはないものの、今後もしっかり継続できるように職員の意識を維持することが必要である。	身体拘束に関する知識を維持し、拘束のない介助を継続できる。	①法令に従い、委員会、研修を継続して行う ②日常業務において、身体拘束がないか常にチェックしていく	12ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。